

## 家庭教育力の強化を図る

# 学校・家庭・地域との連携を深めるPTA活動を目指して

一宮市立千秋小学校PTA

### 1 はじめに

本校は一宮市の東部に位置し、校区は田畑が多く豊かな自然に囲まれた環境である。開校は、昭和22年、新学区制実施に伴い現在の「千秋小学校」と改称したことに始まる。学校規模は、児童数347名、学級数は16学級（通常学級12、特別支援学級4）、PTA会員数は286人である。『花いっぱい 友だちいっぱい 夢いっぱい』を合言葉に、家庭や地域と連携し、教育活動を進めている。



【千秋小学校校舎】

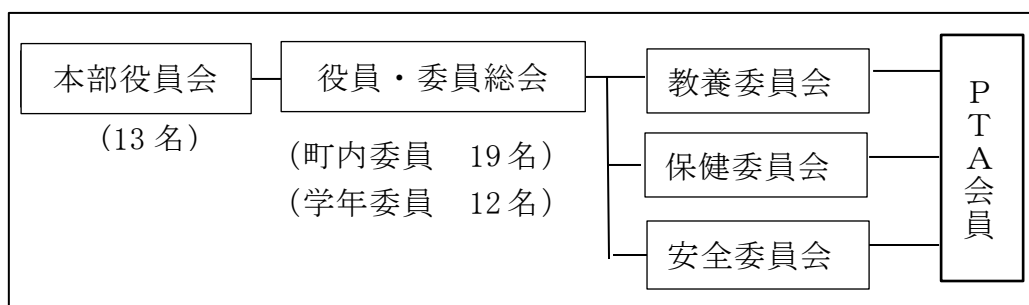
### 2 研究への取組

#### (1) PTA組織

本校のPTA役員は、本部役員13名、町内委員19名、学年委員12名の計44名で構成されている。

特別委員会には、保健委員会、安全委員会、教養委員会があり、それぞれ次のように活動を計画し、実施している。

- ・教養委員会…教養講座や学校外活動の計画・実施
- ・保健委員会…学期に1回「学校保健委員会」を計画、実施
- ・安全委員会…長期休業中の地域の見回りと安全啓発運動の実施



【千秋小学校PTA組織図】

#### (2) 研究のねらい

コロナ禍のため、PTA活動を中止したり縮小したりしてきたものを、昨年は感染対策をしながら少しずつ活動を再開してきた。さらに、今年5月には、感染症法上の位置づけが2類から5類に変わったことを受け、

P T A活動に対する保護者の関心は高いものがあると考えた。しかし、様々な家族形態や共働き家庭の増加により、P T A活動への協力を得ることが難しくなっているのも現実である。そこで、ただコロナ前に戻すのではなく、子どもたちにとって大切なことは何かを再確認し、P T A活動を通して、家庭教育力の向上を図っていきたいと考えた。

### 3 実践活動の概要

#### (1) 子どもの健康と安全を守る取組

##### ① 登校時の交通旗当番

登校時、交通量の多い交差点に、P T A役員が一人年2回交通安全の見守りを実施している。また、地域の見守り隊の方々や子ども会の自主的な見守りの協力もあり、本校は2年間交通事故がない学校として市内で表彰を受けることができた。P T Aと地域が連携することで、「地域で子どもを守る」ことができている。



【P T A役員による旗当番の様子】

##### ② 学校保健委員会

###### ア 心肺蘇生法・A E D使用法講習会

近年、夏の水難事故や熱中症の痛ましいニュースが絶えないため、今年も消防士の方に来ていただき「心肺蘇生法・A E D使用法講習会」を実施した。起きてしまった事故への対処だけでなく、未然にどう防ぐのか、という観点でもご指導いただいた。夏のスポーツや家族でのレジャーなど、いざというときに「命を守る」ことができるようになるためのよい機会となった。



【A E D使用法講習】

###### イ 「歯」と「食」を通しての健康

子どもの健康維持のためには、日々の歯のケアと食事は大切な要素である。そこで、本校では毎年、歯科医と栄養教諭による講演会を行っている。昨年は、歯科医に、「正しい歯の磨き方や早期治療の大切さ」について、栄養教諭には、「朝ごはんとはバランスの取れた食事の大切さ」について講演をしていただいた。また、講演終了後には、給食試食会を实



【歯科医による講演】

施し、学校で食べている給食に関心をもってもらうようにした。子どもたちの健康維持のためには、日頃からバランスの取れた食事と健康な歯を保つことが大切であることを確認することができた。

#### ウ 薬物乱用防止教室

近年違法薬物使用の低年齢化が進んでいる。その危険性を児童だけでなく、保護者にも理解していただきたいと思い、毎年「薬物乱用防止教室」を実施している。昨年は、講師に学校薬剤師を招いてお話ししていただいた。児童は、薬物乱用の怖さだけでなく、「乱用」と「服用」の違いから、「正しい薬の服用」について学ぶことができた。そして、保護者には、薬物乱用が子どもたちの身近で起きていること、また、大人が子どもたちをしっかりと見守っていくことの大切さを理解してもらうことができた。

### (2) 親子の触れ合いを大切にした取組

#### ① 資源回収

資源回収は、年3回実施している。PTA会員には、資源回収への協力を依頼するとともに、子どもたちにも家族の一員として資源ごみの仕分けをしたり、回収場所へ持っていったりすることを呼びかけている。また、本校では、4年生が毎年環境教育の一環として、学校で出るごみの分別を行っている。そのため、4年生以上は学校で学習したことを家庭でも実践することができている。

#### ② ベルマーク整理

本校のベルマーク運動は、次のように実施している。毎月15日を「ベルマーク回収日」に設定し、家庭で集めたベルマークを封筒に入れ子どもが担任に提出する。回収されたベルマークは、PTA全役員が4グループに分かれ、一人1回ベルマーク整理活動を実施している。

ベルマーク運動では、毎年着実にポイントを貯めることができ、子どもの学校生活に役立つ物品を購入することができた。見過ごせばごみになるベルマークを継続して収集し続けられているのは、PTA会員の皆様の「ちょっとした手間」を親子で取り組み続けているからこそできる運動である。

#### ③ 教養講座

昨年までコロナ禍のためにPTA会員同士のつながりを深めるような取組を実施することができなかった。5類に移行した本年、「PTA社会見学」に変わり、教養講座「はじめてのバランスボール&ランチ交流会」を6月に実施することとなった。家事と育児に忙しいPTA会員の毎日を、この講座を通して「笑顔」につなげていけ



【教養講座 バランスボール】



たらとの思いで開催した。参加した方のアンケートには、「自分のために汗を流すことは普段なかなかできない。子どもが帰ってきたら、笑顔で迎えてあげられそう。」や「同じ学年の方とお話しできて良かった。今後行事で学校に来る時、気軽に話ができそうで楽しみ。」など、PTA会員の普段の生活に生かすことのできた講座となった。

#### ④ 学校外活動

「学校外活動」は、親子での触れ合いをねらいとして毎年11月に実施している。昨年は、「親子で作ろう、しめ縄作り」を開催した。家でYouTubeを見たりゲームをしたりして一人で過ごす時間が多くなっている子どもにとって、親子で協力しながら作業する時間をもつことは新鮮なものだったようである。参加した子どもの中には、「帰ったらまたお母さんと一緒に何か作りたい」と話す子もいた。家庭での過ごし方についてよい提案になったと考える。



【親子で作ろう、しめ縄作り】

#### ⑤ ネットモラルの学習

コロナ禍において、児童はネットモラルの学習をオンラインで参加する機会があったが、保護者は感染症対策のために参加することができなかった。しかし、親子の触れ合いを進めていく上で、保護者にもネットモラルの知識は必要であると感じ、今年はPTAとしてネットモラルの学習会に参加できるようにした。学校公開が行われる日にネットモラルの学習会を設定することができ、多くのPTA会員に聞いてもらうことができた。



【ネットモラル教室】

## 4 おわりに

今回の研究を通して、毎年実施しているPTA活動が、PTA会員同士のつながりや家族の触れ合い、家族の健康や安全など、家庭教育力強化のきっかけになっていると実感することができた。また、その中には、地域の協力があったのものだということも理解することができた。今後も千秋連区の合言葉、「千秋の子は千秋で育てる」「大人が協力すれば、子どもは必ず伸びる」のように、家庭・地域・学校が連携し、家庭での教育力を高めながら子どもたちの健やかな成長を支えていきたい。そして、千秋小学校PTAのスローガン「できるときに できることを 千秋の子のために」のもと、持続可能なPTA活動を目指していきたい。